

令和6年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和5年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎城址公園、城内地区自動車駐車場	施設所管課	経済環境局 商業観光課
施設住所	尼崎市北城内27	竣工	H30.11.30(築満5年)
設置目的	老若男女問わず歴史・文化を楽しむ学び、市民のシビックプライドを醸成・賑わいの創出を図るための施設		
主な事業内容	尼崎城天守、一般園地、駐車場の施設運営及び施設維持管理業務。イベント実施等の賑わい創出事業。		
指定管理者名	阪神尼崎駅周辺まちづくり共同企業体	指定期間	自 R5.4.1 至 R10.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	☒ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

賑わいの創出による尼崎城有料入城者数の増加

実施結果

イベントの実施等を積極的に実施しているものの、目標の入城者数を達成できていない(指標②)

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者満足度（単位：％）

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
目標	80	80	80	80	80						
実績	76										
達成度	95%										
評価	○										

指標②：尼崎城天守有料入城者数（単位：千人）

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
目標	60	60	85	70	105						
実績	49										
達成度	82%										
評価	△										

○目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

業務の一元化、流動的な人員配置を行い、「運営コストの抑制」と「サービスレベルの確保」を両立させる。

実施結果及び評価

従事する職員のマルチスキル化、窓口・受付機能、鍵の施錠・解錠、駐車場管理（城址公園・城内地区）の一元化を実現することで、「運営コストの抑制」と「サービスレベルの確保」に努めている。

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

「尼崎市エネルギーの地産地消促進事業」での電気調達を実施するなど、環境へ配慮した取組を行う。

実施結果及び評価

「尼崎市エネルギーの地産地消促進事業」での電気調達を実施するなど、環境へ配慮した取組を行っている。また、閉城後はすぐに不要な電気を消すとともに、定時退社に努めるなど、省エネの取組を行っている。

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとは言いえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差異	項目	予算額	決算額	差異
指定管理料	72,343,000	72,343,000	0	人件費	22,098,000	26,928,447	-4,830,447
				施設維持管理運営費	38,621,000	32,842,234	5,778,766
				その他	14,624,000	9,675,308	4,948,692
収入計	72,343,000	72,343,000	0	支出計	75,343,000	69,445,989	5,897,011

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	団体の所有する資源の活用により、エリア全体を俯瞰した企画・広報が可能であることが指定理由である。 選定基準は①対象施設周辺エリアの賑わい創出、魅力向上が図られるものであるか ②市民の平等な利用が確保されるものであるか ③施設の利用を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであるか ④施設の管理を安定して行う能力を有しているものであるか ⑤賑わいづくりや魅力向上に向けて相乗効果を発揮するような新たな提案(加点)
指定管理者自身が設定した目標	○施設の一体的な管理運営による効果的な賑わい創出や周遊促進につながる施設間連携の強化、利便性・快適性の強化等に努める。 ○維持管理方法の効率化や維持管理水準の適正化によりコスト削減に努める。 ○統括責任者にマネジメント機能を強化し、企業体としての経営資源（ヒト、モノ、カネ）の効果的運用や情報の一元化、円滑な調整及び意思決定の迅速化を行うことで、事業全体を円滑にコントロールする。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	市民のシビックプライドの醸成、来訪者の増加による賑わいの創出					
指標	尼崎城有料入城者数(千人)					
指定期間	R5	R6	R7	R8	R9	達成状況の評価
目標値	60.00	60.00	85.00	70.00	105.00	初年度から積極的に取組を行っている
実績値	49.48					が、目標達成に至らなかった。

法令遵守	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
適正性	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
	選定時の提案内容が実施されているか	適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
	関係性の構築	
	定期的な会議の開催による意見交換のほか、日頃より報告・連絡・相談を密にすることで、信頼関係が深まった。	
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	
パートナーシップ	尼崎城の来城者獲得という目標に対し、市・指定管理者の双方が協力イベントを開催するなど、目標達成に向けて取り組んでいる。	
	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）	
	他市周辺公共施設との連携による効率化で賑わいづくりの原資を捻出し、多様なイベントを開催し、市民を楽しませることが出来た。一方、維持管理の質を上げるため、特に公園の安全・治安確保を尼崎市様と広い視野を以って協働し進めていきたい。又、天守の魅力を来館者にどう伝えるのか改めて試行錯誤を検討していく。	
	周辺公共施設を一体管理することでそれぞれの施設との関連にも配慮し、幅広い連携を生み出せる下地が出来た。今後課題となる中央公園広場とペDESTリアンデッキ、尼崎城社公園の繋がりや周回性を高め利用促進に努める。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）	
	施設の維持管理については、日頃の管理運営、点検業務等問題なく行っている。	
	尼崎城の来城者獲得の取組として様々なイベントを実施しているが、目標とする来城者人数に達していないため、次年度の取組については、主催イベントの実施に加え、他団体との連携や活動主体の掘り起こし等、さらなる取組でもって集客が図れるよう期待したい。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）	
	尼崎城の来城者獲得に向けて、魅力の向上と発信を双方に連携し検討していきたい。供用時間外の活用を図り、また、市内事業者との共同キャンペーンの実施や、学校の校外学習、企業の社員研修等、幅広く尼崎城を利用してもらえるよう取り組んでいく必要がある。一方で、大阪・関西万博を見据えたインバウンド客の獲得に向けたコンテンツの改善や環境の整備等についても双方に検討し実施していきたい。	